

経済対策に係る11月補正予算案の概要

1. 予算編成のわらい

- 県内景気は、輸出については緩やかに持ち直しているものの、個人消費については、全体として横ばい圏内で推移している。
また、雇用・所得環境を見ると、一部に持ち直しの兆しが窺われているものの、円高の長期化に伴う企業業績の悪化が懸念されるほか、有効求人倍率は0.73倍と依然として低水準にあり、新規学卒者の就職状況についても引き続き厳しい状況にあることから、地域経済・雇用に関し、積極的に必要な対策を講じ、地域経済の安定的な回復と雇用の確保を図る必要がある。
- このような認識の下、国の動向等に的確に対応しながら、本年度当初予算に引き続き、厳しい経済情勢を踏まえた雇用対策に加え、低炭素社会の構築、医療や観光振興等に関する施策の充実のほか、社会資本整備事業、公共施設等の維持修繕などを実施することとした。

2. 補正予算額

162億3,477万円

※ 基金への積立てと取崩しの重複額11億6,120万円を差し引くと、150億7,357万円となる。

【参考：経済・雇用対策関係予算】

- ・平成22年度当初予算のうち 約800億円
- ・平成21年度補正予算 約794億円
(6月、9月、11月、2月合計)
- ・平成21年度当初予算のうち 約610億円
- ・平成20年度補正予算(1月) 約109億円

※ その他、平成22年10月から、円高対策緊急融資枠(50億円)を創設

<財源内訳>

地域活性化交付金	23億円
国庫支出金(上記以外)	83億4,350万円
県債	27億8,710万円
その他特定財源	22億5,021万円
一般財源	5億5,396万円

3. 今回の補正予算案に盛り込んだ対策の概要

I 直面する厳しい雇用情勢への対応

(現下の厳しい経済情勢に対応して、雇用対策の充実を図る。)

(1) 雇用創出

34億4,000万円

II 将来の発展に向けた重点投資

(本県の優れた特質を、将来の発展につなげられるよう重点投資を図る。)

(2) 低炭素社会構築の促進

7,652万円

(3) 持続可能な農林水産業づくり

2億8,400万円

(4) 岡山の魅力発信・観光客誘致の促進

7,923万円

III 安心して暮らせる岡山実現のための施策

(介護基盤の充実や公共施設の安全確保など、暮らしやすい岡山の実現を図る。)

(5) 安全で安心して暮らすための地域社会の構築

36億3,913万円

(6) 安全・安心の確保のための公共施設等の整備

87億1,589万円

4. 事業概要

(1) 雇用創出

34億4,000万円

雇用情勢が依然として厳しい中、失業者等に対する新たな雇用機会の創出や、地域ニーズに応じた人材の育成を図る事業を実施する。

【事業の内訳】

■ 緊急雇用創出事業（事業費：3,440,000千円）

※ 離職を余儀なくされた非正規労働者等の失業者に対して、介護・医療・農林等の成長分野における雇用機会の創出や地域ニーズに応じた人材育成等を図る重点分野（*1）雇用創造事業に要する経費を基金に積み増しし、H23（一部H24）までに実施（*2）（H22追加事業費は、6.2億円）

（*1）人材育成以外の事業でも、県独自に4つの重点分野の設定が可能となった。

（*2）事業実施期間が、平成23年度まで延長された。

（介護福祉士養成事業など一部の事業は、24年度にまたがって実施可能）

	区分	H21(注)	H22	H23	H24	計	雇用創出効果
既定	県	13億円	34億円	8億円	—	55億円	約 9,100人
	市町村	12億円	29億円	13億円		54億円	
追加	県	—	3億円	9億円	2億円	14億円	約 1,100人
	市町村		3億円	9億円	2億円	14億円	
計	県	13億円	37億円	17億円	2億円	69億円	約10,200人
	市町村	12億円	32億円	22億円	2億円	68億円	

(注) H21の数値は、実績を反映させたもの。

(2) 低炭素社会構築の促進

7,652万円

低炭素社会の構築に向けて、電気自動車の普及促進に係る事業を実施する。

【事業の内訳】

■ 電気自動車急速充電器整備事業 (事業費：76,521千円)

※ 電気自動車の普及を促進するため、岡山空港や道の駅等、県内7カ所に電気自動車の急速充電器を整備

(3) 持続可能な農林水産業づくり

2億8,400万円

将来を見据え、社会環境の変化に対応した農林水産業の振興に資する事業を実施する。

【事業の内訳】

■ おかやまの木で家づくり推進事業 (事業費：40,000千円)

※ 県産乾燥材の使用等を推進し、県産材の需要拡大を図るとともに、景気悪化により低迷している住宅着工数を回復させるため、県産乾燥材使用住宅への助成制度を拡充 (受付枠：200戸→400戸)

■ 森林整備加速化・林業再生事業 (事業費：244,000千円)

※ 森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図るため、高性能林業機械等の導入、木材加工施設の整備等に要する経費を既存の基金に積み増し、H23までに実施 (H22は、2,200万円)

■ <再掲> 農林水産関係社会資本整備事業 (事業費：950,000千円)

※ 農地防災事業、治山事業等

(4) 岡山の魅力発信・観光客誘致の促進

7,923万円

将来の発展に向け、国内外でのタイムリーな観光客誘致事業等を実施する。

【事業の内訳】

■ 九州観光展事業（事業費：4,011千円）

※ 九州新幹線が全線開通する南九州地方において観光展を開催し、本県への観光客誘致を働きかける事業を実施

■ 中国人観光客誘致PR推進事業（事業費：7,096千円）

※ 中国のマスメディアを活用して岡山県の認知度を高めることにより、観光客誘致を働きかける事業を実施

■ 後楽園進入路改良等事業（事業費：68,119千円）

※ 西外園周辺の歩行者動線を改善して安全性を高め、賑わいの創出を図るため、進入路の改良を行うとともに、東外園に入口を整備する事業を実施

(5) 安全で安心して暮らすための地域社会の構築

36億3,913万円

県民生活の安全・安心を確保するため、子宮頸がん等ワクチン接種、消費者行政、介護基盤の充実、良好な治安を維持するための事業等を実施する。

【事業の内訳】

■ **子宮頸がん等ワクチン接種促進事業**（事業費：3,116,071千円）

※ 市町村が実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を助成するため、国から交付される子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金（仮称）を基金に積立て、H23までに実施（H22は、5.2億円）

■ **消費者行政、DV、障害者対策等推進事業**（事業費：57,831千円）

※ 消費者ホットラインの周知、DV被害者同伴子女に対する学習支援、児童相談所へのサポート職員の配置のほか、基幹型地域生活支援センター等関係施設の環境整備を実施

■ **介護基盤緊急整備事業等**（事業費：394,131千円）

※ 地域密着型施設に係る消火設備等を緊急に整備するため、国から交付される介護基盤緊急整備等臨時特例交付金の、既存の基金への積み増しなどを実施

■ **捜査活動基盤強化事業**（事業費：71,101千円）

※ 誤認検視の防止を図るため、検視業務管理システムの構築を行うほか、捜査活動の効率化を図るため、改ざん防止機能付デジタルカメラ等の整備を実施

(6) 安全・安心の確保のための公共施設等の整備

87億1,589万円

県民の日常生活の安全・安心、暮らしの豊かさを確保するため、社会生活基盤の耐震化・予防保全等を実施する。

【事業の内訳】

■ 社会資本整備事業（事業費：6,397,633千円）

※ 道路整備事業、河川整備事業、港湾整備事業等

（補助公共事業等：5,397,633千円、単県公共事業：1,000,000千円）

■ 公共土木施設等の維持修繕事業等（事業費：230,000千円）

■ 県立高校の耐震補強事業（事業費：653,304千円）

※ 県立学校の耐震化を加速させるため、県立高校3校の耐震補強工事等を前倒しして実施

■ 公の施設等の維持修繕等（事業費：1,434,948千円）

＜主な施設＞

- ・美作ラグビー・サッカー場
- ・津山陸上競技場
- ・消防学校
- ・南部健康づくりセンター
- ・総合福祉・ボランティア・NPO会館
- ・コンベックス岡山